



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月26日

上場取引所 東大

上場会社名 日立化成工業株式会社

コード番号 4217 URL <http://www.hitachi-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 田中 一行

問合せ先責任者 (役職名) CSR統括部 コーポレートコミュニケー ションセンタ センタ長 (氏名) 加藤 丈士

TEL 03-5381-2370

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	378,597	12.7	35,787	27.8	37,119	40.7	22,457	34.9
22年3月期第3四半期	335,827	△18.2	28,013	△2.4	26,373	△3.8	16,649	9.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	107.83	—
22年3月期第3四半期	79.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	428,034	292,126	64.7	1,330.16
22年3月期	426,586	282,602	62.9	1,289.11

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 277,008百万円 22年3月期 268,463百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
23年3月期	—	18.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500,000	9.8	44,000	14.8	44,000	20.5	26,500	12.7	127.25

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	208,364,913株	22年3月期	208,364,913株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	113,394株	22年3月期	109,761株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	208,253,595株	22年3月期3Q	208,261,068株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他関連する事項については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 3
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

2010年4月1日から同年12月31日までの連結業績につきましては、これまで好調に推移してきた液晶テレビ向けの需要が減少し影響を受けたものの、全般的には中国をはじめとする新興国でのデジタル家電や自動車向けの需要に支えられ、売上高は3,785億97百万円(前年同期比12.7%増)、営業利益は357億87百万円(前年同期比27.8%増)、経常利益は371億19百万円(前年同期比40.7%増)、四半期純利益は224億57百万円(前年同期比34.9%増)と前年同期実績を上回りました。

セグメント別の営業の状況は以下のとおりです(各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載)。

### 機能材料セグメント

当セグメントの売上高は前年同期実績の5.8%増に当たる1,926億39百万円となりました。

#### ① 電子材料

半導体用エポキシ封止材は、中国におけるデジタル家電等の需要増により、前年同期実績を上回りました。

半導体用ダイボンディング材料は、競争激化の影響等により、前年同期実績を下回りました。

半導体回路平坦化用研磨材料は、需要回復を背景に、前年同期実績を上回りました。

電気絶縁用ワニスは、液晶ディスプレイ回路の表面保護向けに売上が増加したほか、ハイブリッド自動車用途の拡大により、前年同期実績を上回りました。

#### ② 無機材料

リチウムイオン電池用カーボン負極材は、自動車向けの売上増により、前年同期実績を上回りました。

カーボン製品は、電刷子が自動車用に需要が回復したため、前年同期実績を上回りました。

セラミックスは、半導体製造装置向けの需要回復に伴い、前年同期実績を上回りました。

#### ③ 樹脂材料

塗料用樹脂は、建材向け等の売上が伸長し、前年同期実績を上回りました。

粘着フィルムは、液晶ディスプレイの光学シート表面保護用の需要減少に伴い、前年同期実績を下回りました。

ディスプレイ用回路接続フィルムは、中国における液晶テレビ等の需要減により、前年同期実績を下回りました。

非接触式ICカード・タグは、公共分野での採用拡大により、前年同期実績を上回りました。

#### ④ 配線板材料

銅張積層板は、半導体パッケージ用基板向けの売上が増加した一方、競争激化の影響を受け携帯電話向けの売上が減少し、前年同期実績並みとなりました。

感光性フィルムは、中国の旺盛な需要を取り込み、前年同期実績を上回りました。

### 先端部品・システムセグメント

当セグメントの売上高は前年同期実績の21.0%増に当たる1,859億58百万円となりました。

#### ① 自動車部品

内・外装成形品、摩擦材、粉末冶金製品は、自動車市場の回復により、前年同期実績を上回りました。

#### ② 電子部品

配線板は、モバイル機器向けの需要増加に加え、半導体テスター関連の需要回復により、前年同期実績を上回りました。

#### ③ その他

電池は、環境対応車向けの需要増により、新車用が売上を伸ばしたことに加え、補修用の採用

も拡大し、前年同期実績を上回りました。

コンデンサは、風力発電向けに売上を伸ばし、前年同期実績を上回りました。

診断薬・装置は、アレルギー診断薬を中心に売上を伸ばしたことにより、前年同期実績を上回りました。

## (2)連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から14億48百万円増加し4,280億34百万円となりました。主に受取手形及び売掛金が増加し、流動資産が52億97百万円増加したことによるものです。

### ②負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から80億76百万円減少し1,359億8百万円となりました。主に法人税等の支払により未払法人税等が減少し、流動負債が100億27百万円減少したことによるものです。

### ③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末から95億24百万円増加し2,921億26百万円となりました。評価・換算差額等が66億31百万円減少する一方、主に利益剰余金が増加し、株主資本が151億76百万円増加したことによるものです。

## (3)連結業績予想に関する定性的情報

平成22年10月29日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1)重要な子会社の異動の概要

該当なし

### (2)簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### (簡便な会計処理)

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

### (3)会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、特別損失として620百万円を計上しております。

#### ②「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告

第 24 号 平成 20 年 3 月 10 日) を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる影響額は軽微であります。

#### ③企業結合に関する会計基準等の適用

当第 3 四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第 21 号 平成 20 年 12 月 26 日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 22 号 平成 20 年 12 月 26 日)、「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」(企業会計基準第 23 号 平成 20 年 12 月 26 日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第 7 号 平成 20 年 12 月 26 日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第 16 号 平成 20 年 12 月 26 日公表分) 及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第 10 号 平成 20 年 12 月 26 日) を適用しております。

#### ④連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、連結子会社のうち決算日が 12 月 31 日である Hitachi Chemical (Thailand) Co., Ltd. (旧商号: Siam HPM Co., Ltd.) 他 1 社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について、連結上必要な調整を行っていましたが、より適切な経営情報を把握するために、第 1 四半期連結会計期間より、連結決算日における仮決算に基づく財務諸表を使用する方法に変更しております。なお、各社の 2010 年 1 月 1 日から同年 3 月 31 日までの損益については、利益剰余金に直接計上しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (2010年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,637	33,434
受取手形及び売掛金	112,556	105,059
製品	18,477	16,504
仕掛品	10,754	9,306
原材料	11,647	10,727
関係会社預け金	49,943	64,169
その他	26,080	22,220
貸倒引当金	△5,112	△4,734
流動資産合計	261,982	256,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,466	42,669
機械装置及び運搬具（純額）	47,703	51,394
土地	19,371	19,220
その他（純額）	16,491	13,361
有形固定資産合計	125,031	126,644
無形固定資産	6,740	5,737
投資その他の資産		
投資有価証券	17,049	20,114
その他	18,053	18,329
貸倒引当金	△821	△923
投資その他の資産合計	34,281	37,520
固定資産合計	166,052	169,901
資産合計	428,034	426,586

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (2010年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,677	54,586
短期借入金	12,037	11,763
未払法人税等	4,117	11,308
その他	31,464	34,665
流動負債合計	102,295	112,322
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	4,300	2,492
退職給付引当金	15,851	15,552
役員退職慰労引当金	1,308	1,456
負ののれん	159	645
その他	1,995	1,517
固定負債合計	33,613	31,662
負債合計	135,908	143,984
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,454	15,454
資本剰余金	36,113	36,113
利益剰余金	242,936	227,754
自己株式	△187	△181
株主資本合計	294,316	279,140
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,686	1,985
繰延ヘッジ損益	109	△20
為替換算調整勘定	△19,103	△12,642
評価・換算差額等合計	△17,308	△10,677
少数株主持分	15,118	14,139
純資産合計	292,126	282,602
負債純資産合計	428,034	426,586

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)
売上高	335,827	378,597
売上原価	251,671	282,340
売上総利益	84,156	96,257
販売費及び一般管理費		
退職給付引当金繰入額	1,638	1,051
貸倒引当金繰入額	1,769	240
従業員給料及び手当	14,967	16,799
荷造及び発送費	10,586	11,687
研究開発費	11,244	12,058
その他	15,939	18,635
販売費及び一般管理費合計	56,143	60,470
営業利益	28,013	35,787
営業外収益		
受取利息	222	210
受取配当金	137	218
受取ロイヤリティー	955	1,256
負ののれん償却額	677	486
持分法による投資利益	—	1,233
その他	2,366	1,950
営業外収益合計	4,357	5,353
営業外費用		
支払利息	533	444
固定資産処分損	273	548
為替差損	1,238	1,170
持分法による投資損失	224	—
製品補修費	1,331	—
その他	2,398	1,859
営業外費用合計	5,997	4,021
経常利益	26,373	37,119
特別利益		
段階取得に係る差益	—	392
特別利益合計	—	392
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	620
特別損失合計	—	620
税金等調整前四半期純利益	26,373	36,891
法人税等	9,202	12,594
少数株主損益調整前四半期純利益	—	24,297
少数株主利益	522	1,840
四半期純利益	16,649	22,457

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(4) セグメント情報

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、第1四半期連結会計期間から適用した新セグメント区分に組み替えて表示しております。

① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社事業の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、材料から部材、さらに部品へと、製品の加工度に応じた括りによる組織体制に基づき、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製品の加工度別に、材料を「機能材料」、部材及び部品を「先端部品・システム」の各セグメントに分類し、これら2つを報告セグメントとしております。

「機能材料」事業では、電子材料、無機材料、樹脂材料、配線板材料等の製造・販売を行っており、「先端部品・システム」事業では、自動車部品、電子部品等の製造・販売を行っております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 2009年4月1日 至 2009年12月31日）

（単位：百万円）

科 目	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売 上 高					
(1) 外 部 顧 客 へ の 売 上 高	182,087	153,740	335,827	—	335,827
(2) セ グ メ ン ト 間 の 内 部 売 上 高 又 は 振 替 高	2,750	369	3,119	( 3,119)	—
計	184,837	154,109	338,946	( 3,119)	335,827
セ グ メ ン ト 利 益	24,610	3,488	28,098	( 85)	28,013

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2010年4月1日 至 2010年12月31日）

（単位：百万円）

科 目	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売 上 高					
(1) 外 部 顧 客 へ の 売 上 高	192,639	185,958	378,597	—	378,597
(2) セ グ メ ン ト 間 の 内 部 売 上 高 又 は 振 替 高	6,542	349	6,891	( 6,891)	—
計	199,181	186,307	385,488	( 6,891)	378,597
セ グ メ ン ト 利 益	26,008	9,774	35,782	5	35,787

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし